

[小児科]

[研修の目標]

小児科診療を学び、病苦から子どもの笑顔を守る情熱を共有しよう。

[研修指導医]

宮本健(小児科部長)

日本小児科学会専門医・指導医、日本小児神経学会専門医

田口智英(小児科医長)

日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医・指導医

[研修コース]

選択必修研修(できるだけ2か月以上の研修を)

[研修指導体制]

病棟において指導医とともに担当医として入院症例の診療を行いながら小児科診療を深く学ぶ機会を持つ。外来においては common disease の診療、専門外来の陪席、乳児健診と予防接種を経験して実際の外来診察と予防医学を学ぶ。科内勉強会、抄読会、入院症例検討会に参加し、自ら発表する機会を持つ。

[研修内容および到達目標]

1. 小児を診療して、理学的所見を把握できる
2. 臨床検査の適応を知り、小児の特性を踏まえて結果を解釈できる
3. カンファレンスにおいて症例の提示を行い、医師やコメディカルと議論を行うことができる
4. Common disease の診療ができ、重症例やまれな疾患、虐待例においても指導医と相談しながら診断と治療方針を決めることができる
5. 乳児健診と予防接種のポイントを理解し、実施することができる
6. 保護者と、可能なら患児本人に対して病態や病状を説明する方法について理解し、指導医とともに施行できる
7. 基本的な手技：採血、点滴、注射（筋注、皮下注、皮内注）、導尿、胃洗浄、吸入療法、気道確保、人工呼吸、腰椎穿刺、骨髄穿刺、エコー、心電図、脳波、各種負荷テストなどを理解し、実施することができる
8. 他職種とともにチーム医療を理解し、実践することができる